

令和2年度印西市地域公共交通会議
第2回本塾第二小学校周辺地域対策分科会 会議録

開催日時 令和2年12月14日(月) 午後2時から
開催場所 印西市役所 会議棟2階 204会議室
出席者 石川浩久委員、織原拯委員、浦川真一委員、石井隆委員、
岩崎員幸委員(代理 大島様)、佐藤信之委員、川嶋一郎委員、富澤実委員
欠席者 和田賢太郎委員
事務局 交通政策課 本多課長、小林係長、鈴木係長、成田主査、阿部主査
傍聴者 1名

次 第

- 1 開会
- 2 課長挨拶
- 3 議題
 - (1) 印西市地域公共交通計画(素案)について
 - (2) スワン号の実証運行について
- 4 閉会

会議録(要約)

1 開会

(事務局) ただいまから、令和2年度第2回本埜第二小学校周辺地域対策分科会を始めさせていただきます。

2 出欠の報告

(事務局) 議事に入ります前に、本日の委員の出欠につきまして、ご報告いたします。
和田賢太郎委員は、本日欠席でございます。また、代理出席のご報告といたしまして、岩崎員幸委員の代理として大島様にご出席いただいております。

(事務局) 本日の会議につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第6項の規定に基づき、公開とさせていただきます。また、傍聴の申し出がありましたので、傍聴者を入室させていただきます。本日の会議でございますが、会議録作成のため、録音させていただきますので予めご了解ください。

3 課長挨拶

(事務局) 続きまして、交通政策課長の挨拶でございます。

【 課 長 挨拶 】

4 議題

(1) 印西市地域公共交通計画（素案）について

(事務局) それでは、議題(1)「印西市地域公共交通計画（素案）について」、コンサルト会社ライテックより説明させていただきます。

【議題(1) (株)ライテック説明】

(事務局) 事務局から補足でございます。2ページ、印西市の公共交通の説明に一般のタクシーについての説明が抜けていましたので載せさせていただきます。こちらについて入れることで進めております。
計画の素案につきまして、ご意見がありましたら挙手をお願いします。

(委員) 前回お配りした、自家用車の有償サービスについて、スワン号のサービスエリアについて、公共交通で対応することが難しいという場合になったとき、検討の選択肢として、その集落のボランティアによる自分の自家用車を使って、有償運行を行う。そういう形と言うのは、検討の選択肢として入らないものなのでしょうか。

(委員) 身近な人が運転してくれると、乗りたい人は乗りやすいかも知れませんが、保険的なことの難しさがある。

(委員) それは市がサポートをしてくれると思います。ただ、制度として、自家用車有償運送という制度が国の方としてこしらえているので、それが一つの選択肢として、検討の余地があると思います。

(事務局) 現段階での計画では、まだその段階ではないと思います。その理由は、83ページ、公共交通空白地域の対応策ということで、考え方を書いてありますが、市内の公共交通の空白地域の対応策のモデルケースが、本塾第二小学校周辺地域での乗合タクシー方式になります。今までもダイヤ変更等していますが、それはその地域だけではなくて、印西市内の空白地域の対応策のモデルケースとして、実証運行ということですので、その中でより効果があがるような形で、様々なことを実験して、それが応用できるかということが今の計画の中での主眼になります。それがうまくいかないとすれば、それが次の段階になって、制度とか考えなければならぬ段階になると思われれます。これが現段階の考えになります。素案の段階で記載があるのは、82ページ、83ページになります。スワン号の現状と、どういう方向で市が公共交通の空白地帯について考えているのかということを書き記述させていただいています。この分科会につきましては、その辺を特に入れておくべきじゃないとか、そういうことを言うていただければありがたいと思います。

(委員) 利用者の数をみるとものすごく減っているんで、なんでかというところがある。元々交通の便がないところなので、やはりそれに対してどうしていくかそれがものすごく難しいと思います。そんなに便数もない、手軽でもないというところが、二の足を踏んでいるところであるかも知れません。じゃあ、どうしたらいいのかというところは難しいところでもあります。前回もお話ありました通り、近所の方ではなくて、タクシー事業者さんの話をされていたので、タクシーの利用券が先行ではないかと思えます。

(委員) 現状、近所の人に乘せてもらっていることが多いのではないですか。

(委員) 多いと思います。

(委員) そうすると、ある程度お礼しなければならぬ。自家用車有償運行的な形があるので、それが次の制度に載せるのも一つの選択肢になる気がします。そこに公共交通事業者が入らない場合は、事業者側にとって、事業が侵害されることになるので、利害関係が出てくると思います。それでタクシー券を自治体が配布するという形をとる。現実的には、穏やかな対策になるのかと思います。いくつかの選択肢があって、その中で住民の人たちがどういう選択をされるかということになると思います。スワン号をやってみただけ、利用がない。どうしようもないということで。地元の事情をよく知らない者があれこれ言うよりも、実際に利用するかもしれない住民の人に具体的にケアをしていく。そういう取り組みが重要なのかと思います。住民の主体的な関わりが重要だと思えます。

- (事務局) 83ページに書いてありますが、公共交通空白地帯対応指針を作る段階で、委員が言ったような、様々なやり方があると思います。市内におきましても、スワン号の他に、宗像路線も補助を出して実証運行しているので、それも一つの選択肢だと思います。できるだけ多く出して、その中から住民の方が選ぶ形も一つのやり方としてあると思います。その他ご意見はございますでしょうか。
- (委員) 宗像路線ですが、バス停まで距離がある人が結構います。本塾ではスワン号を出しているということで、スワン号みたいなのが出せないのですかという問い合わせもあります。実際に出したにしろ、スワン号も1日1人いるかいないか。それを宗像路線の周りのほうで出したとしても、無理ですという回答はしている。市へ要望は出したらどうですかという話の中のことですが。今、師戸地区の路線では、牧の原から臼井、臼井から牧の原は数人利用しています。旧本塾第二小学校を中心に路線を1本通して、例えば、病院の方へ行くなどしたら、お年寄りの方も利用したりするのではないかと思います。そうであれば、タクシーで対応する。そのような形がよいのではないかと思います。
- (委員) 確かに乗っても自分の行きたいところに、スッと行けない。ある程度不便を感じているのがあると思います。
- (委員) 例えば、安食のほうの病院と小林駅を經由して日医大。そう言った形で、結構利用者があると思います。
- (委員) 病院関係の利用者は結構いると思います。そのようなのができれば、利用する可能性はあると思います。
- (委員) 本塾小からであれば、不自由はないと思いますが。
- (委員) そうだと思います。
- (事務局) この後、スワン号の利用状況について説明があります。今の利用状況を見ると、固定客のお客様がよく使われています。使い方といたしましては、デマンドをよく使われている状況でございます。ただ、月10人であるとか、コロナ禍にある中で、利用はすごく少ない状況になります。本当に上手に使っていただける方は、週に2、3回使われています。
- (委員) 利用客が少ないのはコロナの影響があると思います。
- (事務局) それでは、素案につきまして、おおまかな構成やスワン号について特に問題はないということでもよろしいでしょうか。

【問題なしの声あり】

(事務局) 問題がないとのことですので、本塾第二小学校周辺地域対策分科会での承認をいただきました。24日の会議の方に確認したいと思います。

(2) スワン号の実証運行について

(事務局) つづきまして、議題(2)「スワン号の実証運行について」ご説明いたします。

【事務局説明】

(事務局) 説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

(委員) 新たな試みとして無料乗車期間となっていますが、どんな感じに進めて行くのでしょうか。どのくらいの期間でやるのか、時期について、もしお分かりになれば。

(事務局) 時期は選ぶ必要があると思います。夏よりも、春だったり、秋だったりすれば、人の出歩く確率が高くなるので、いろんな意味でその時期がよいのではないかと思います。運輸局に話をしています、これは届け出でできると思うのですが、事前の準備期間があります。4月1日から実施しようとする、今の時点では難しいと思いますし、そもそもコロナがあるという状況になっています。コロナがある程度収まってきたタイミングが一番いいと思います。他の市町村をみると、無料期間を1か月で実施しているところもあれば、2か月、3か月実施しているところもある。コロナの状況、手続きの時間、広報もあるので、準備期間を含めて、考えて実施していくことになると思います。

(委員) ありがとうございます。

(事務局) ひとつの案として考えているところですので、今後、運行事業者と話しを進めながら、最終的には、交通会議で承認をいただければいけないので、最終的には会議に図っていくこととなります。

(委員) 無料期間を設けて、乗り切れないことはないのか。

(委員) ないと思います。

(委員) 体験乗車に対して、1回だけでいいのかなと思いました。期間ではなくて、無料券を配布するのもいいと思われる。1か月無料にすると、頻繁に利用する人がいて、その期間無料で乗れるわけなので、乗り切れない人が出てくるのではないかと思います。

(事務局) その他いかがでしょうか。特にないようであれば、議題2について、分科会として了承ということよろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

(事務局) 了承とのことで、こちらにつきましても 24 日の会議に図っていく形になります。

(事務局) それでは、議題は全て終了しました。その他、何かご意見はありますか。

5 閉会

(事務局) それでは、以上をもちまして「令和 2 年度第 2 回本塾第二小学校周辺地域対策分科会」を終了いたします。ありがとうございました。